



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月29日

上場会社名 株式会社小森コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6349 URL <https://www.komori.com/ja/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 訓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松野 浩一 (TEL) 03-5608-7826
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	55,951	△7.4	△1,948	—	△1,800	—	△1,969	—
2019年3月期第3四半期	60,414	△5.4	174	△87.0	68	△97.1	△803	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,558百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △2,868百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△34.67	—
2019年3月期第3四半期	△13.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	161,373	123,648	76.6
2019年3月期	167,370	130,184	77.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 123,575百万円 2019年3月期 130,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	△9.7	△1,600	—	△1,200	—	△1,800	—	△32.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	58,292,340株	2019年3月期	62,292,340株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,367,889株	2019年3月期	4,067,383株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	56,795,693株	2019年3月期3Q	58,225,495株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成した見通しであります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の変動等様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

決算説明会資料はTDnetで2020年2月7日(金)に開示し、同日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比7.4%減少の55,951百万円となりました。地域別連結売上高の概況は次の通りであります。

地域別連結売上高の概況

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間 (2018.4.1~2018.12.31)	当第3四半期 連結累計期間 (2019.4.1~2019.12.31)	増減率 (%)
売上高		60,414	55,951	△7.4%
内訳	日本	24,364	20,630	△15.3%
	北米	4,826	4,419	△8.4%
	欧州	11,291	9,040	△19.9%
	中華圏	11,745	11,341	△3.4%
	その他地域	8,186	10,519	28.5%

日本経済は引き続き良好な雇用環境にあるものの景気は弱含みに推移しました。日本市場の売上は、オフセット印刷機で設備投資が弱く当第3四半期は前年比で減少しました。またPE（プリンテッドエレクトロニクス）事業は需要が引き続き前年比で減少しました。これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比15.3%減少の20,630百万円となりました。

北米市場は緩和的な金融政策や良好な雇用・所得環境による消費の下支えにより、堅調な景気拡大が継続しました。一方、通商政策の不確実性が高まる中、オフセット印刷機への投資は依然慎重で、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比8.4%減少の4,419百万円となりました。

欧州市場は製造業の低迷などにより、景気に停滞感が見られました。印刷機需要は、英国ではEU離脱がほぼ確実になったものの、先行きへの警戒感から引き続き需要が低迷しており、東欧・南欧などの代理店地域でも需要が低調に推移しました。当第3四半期累計期間では欧州市場全体の売上高減少幅が拡大し、前年同四半期比19.9%減少の9,040百万円となりました。

中華圏は米中貿易摩擦の影響により、景気拡大のスピードが鈍化しましたが、政府の景気対策により内需が下支えされ、景気は横ばいとなりました。元安の影響を受け投資が先送りされたことなどにより、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比3.4%減少の11,341百万円となりました。なお、4月29日付で当社の子会社である小森香港有限公司を通じて中国販売代理店の深圳兆迪技術有限公司の全株式を取得し、世界最大の印刷機市場である中国市場で販売・サービス体制を強化しています。

その他地域は、インド・アセアン諸国の経済は米中貿易摩擦などによる影響を受け、総じて成長の鈍化がみられました。一方で、オフセット印刷機の売上高は増加し、さらに前連結会計年度において受注した証券印刷機が売上に寄与したことなどから、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比28.5%増加の10,519百万円となりました。

費用面では、品目別売上構成の違い等により、売上原価率が前年同四半期に比べ上昇しました。販売費及び一般管理費率は、のれんの償却額の増加や研究開発費の増加の影響等により、前年同四半期に比べ上昇しました。その結果、営業損益は、前第3四半期が174百万円の利益であったのに比べ、当第3四半期は1,948百万円の損失となりました。経常損益は、当第3四半期での営業損失の拡大と、前第3四半期に比べ為替差損が増加したこと等により、前第3四半期が68百万円の利益であったのに対し、当第3四半期は1,800百万円の損失となりました。税金等調整前四半期純損益は、前第3四半期が33百万円の利益であったのに対し、当第3四半期は1,805百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前第3四半期が803百万円の損失であったのに対し、当第3四半期では1,969百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ5,997百万円減少(3.6%減)し、161,373百万円となりました。資産の主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少7,710百万円、現金及び預金の減少7,263百万円、有価証券の減少2,328百万円、投資その他の資産の減少682百万円等であり、主な増加要因は、棚卸資産の増加6,924百万円、のれんの増加3,612百万円、流動資産その他の増加1,615百万円等であります。

(負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ539百万円増加(1.4%増)し、37,725百万円となりました。負債の主な増加要因は、流動負債その他の増加3,144百万円、固定負債その他の増加350百万円、短期借入金の増加211百万円等であり、主な減少要因は、電子記録債務の減少1,382百万円、その他の引当金の減少973百万円、支払手形及び買掛金の減少761百万円等であります。

純資産は前連結会計年度末に比べ6,536百万円減少(5.0%減)し、123,648百万円となりました。純資産の主な減少要因は、利益剰余金の減少9,269百万円等であり、主な増加要因は、自己株式の減少2,321百万円、その他の有価証券評価差額金の増加525百万円等であります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の77.7%から1.1ポイント減少し、76.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年3月期の業績予想は、2020年1月28日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,988	26,724
受取手形及び売掛金	23,748	16,037
電子記録債権	2,402	2,315
有価証券	15,194	12,866
商品及び製品	13,309	18,695
仕掛品	10,091	11,055
原材料及び貯蔵品	8,827	9,400
その他	2,217	3,833
貸倒引当金	△328	△318
流動資産合計	109,451	100,611
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,020	18,005
その他(純額)	13,879	13,967
有形固定資産合計	31,900	31,973
無形固定資産		
のれん	685	4,298
その他	1,557	1,397
無形固定資産合計	2,243	5,696
投資その他の資産	23,775	23,092
固定資産合計	57,919	60,762
資産合計	167,370	161,373

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,575	11,813
電子記録債務	7,819	6,437
短期借入金	39	250
未払法人税等	169	262
債務保証損失引当金	132	110
その他の引当金	2,109	1,135
その他	10,964	14,108
流動負債合計	33,809	34,118
固定負債		
退職給付に係る負債	2,559	2,442
引当金	141	137
その他	676	1,026
固定負債合計	3,376	3,606
負債合計	37,185	37,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,714	37,714
資本剰余金	37,788	37,788
利益剰余金	58,797	49,527
自己株式	△5,058	△2,736
株主資本合計	129,242	122,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,871	3,397
為替換算調整勘定	△834	△1,035
退職給付に係る調整累計額	△1,169	△1,080
その他の包括利益累計額合計	867	1,281
非支配株主持分	74	73
純資産合計	130,184	123,648
負債純資産合計	167,370	161,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	60,414	55,951
売上原価	41,792	38,847
割賦販売未実現利益戻入額	2	0
売上総利益	18,624	17,103
販売費及び一般管理費	18,450	19,051
営業利益又は営業損失(△)	174	△1,948
営業外収益		
受取利息	61	65
受取配当金	244	240
その他	221	282
営業外収益合計	527	588
営業外費用		
支払利息	50	5
為替差損	76	288
その他	505	146
営業外費用合計	632	440
経常利益又は経常損失(△)	68	△1,800
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	24	3
固定資産除却損	11	1
特別損失合計	36	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33	△1,805
法人税、住民税及び事業税	463	147
法人税等調整額	373	16
法人税等合計	836	164
四半期純損失(△)	△803	△1,969
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△803	△1,969

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△803	△1,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,135	525
為替換算調整勘定	△9	△203
退職給付に係る調整額	79	88
その他の包括利益合計	△2,065	410
四半期包括利益	△2,868	△1,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,868	△1,555
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①自己株式の取得

当社は、2019年3月25日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、自己株式2,300,000株の取得を行っております。この結果、自己株式が2,673百万円増加しております。

②自己株式の消却

当社は、2019年3月25日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しております。これに伴い、2019年4月26日付で自己株式4,000,000株の消却を実施しております。この結果、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ4,995百万円減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当社の連結子会社である小森香港有限公司を通じて、深圳兆迪技術有限公司(インフォテック社)の全株式を取得したため、商号を小森(深圳)印刷技術有限公司に変更した上で、同社を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が247百万円増加し、流動負債の「その他」が102百万円及び固定負債の「その他」が164百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は19百万円減少しております。